

感染拡大防止対策

ハイブリッド開催に伴う感染対策について

4月9日（金）～10日（土）、岡山コンベンションセンターにて日本区域麻酔学会 第8回学術集会をハイブリッド開催するにあたり、学術集会として下記の感染対策を実施いたします。

ご参加を予定されている、参加者・演者・座長・協賛企業の皆様におかれましては、下記対策をご確認いただきますとともに、安全・安心な学術集会の開催成功に向け、感染防止のためのお願ひ事項について、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

※今後の状況により、下記事項が加筆修正される可能性があります。その都度 HP にて更新させていただきます。

会場での感染予防対策

- 岡山コンベンションセンターのガイドラインに準拠した運営。
- 除菌スプレーの設置（コンベンションセンター各入口、各会場入口、受付、企業展示）。
- 全員マスクの徹底。
- 来場者情報の取得。
- 受付等の対面作業には防護パーテーションを設置したうえでマスクとフェイスシールドを着用。
- 受付では物の受け渡しはトレー等を使って行い、直接の接触を避ける。
- 質疑応答は自席にて。マイク係がマイクを消毒し受け渡す。
- 各箇所の定時消毒作業。
- 厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のインストールのお願い。
- 検温の徹底。会場入り口におけるサーマルカメラでの来場者体温確認（既定の体温以上が検知された場合、再検温の上、ご帰宅いただく場合がございます）。
- 参加者、協賛企業関係者・スタッフへの日次検温のお願い、運営スタッフの日次検温の実施。
- 講演会場、展示会場の換気徹底。

三密回避

- 三密を避けた会場レイアウトの作成。
- 入場者数の管理。
- 講演会場で入口の開放による喚起（サーキュレーター等使用）。
- 企業展示での間隔をあけた小間配置。
- シンポジウム討論時、講演者間アクリルパネル設置（ないし物理的距離の確保）による飛沫感染防止。

参加者の皆様へのお願い

- 自らあるいは同居者が、以下に該当する場合は来場しない。
 - (A) 37.5 度以上の発熱あるいは平熱より 1 度以上の発熱がある人
 - (B) 咳・咽頭痛・息苦しさ等の症状が認められる人
 - (C) 過去 1 4 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者と濃厚接触がある人
 - (D) 過去 1 4 日以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした人及び過去 1 4 日以内に同様の症状にある人との濃厚接触歴がある人
 - (E) その他、感染の疑いや不安がある人
- 手洗い・消毒、マスク着用、咳エチケットを徹底する。
- 大声での会話等、感染リスクの高い行為を行わない。
- 催事前後や休憩時間での交流等を極力控える。
- 政府が発行する新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA）を利用する。
- 事後に感染が明らかになった場合は、主催者へ連絡するとともに保健所等の感染追跡調査等の実施に協力する。また、濃厚接触者となった場合も同様とする。